



2019年6月6日

各位

スパークス・グループ株式会社  
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平  
(コード8739 東証第一部)

## 「未来創生 2号ファンド」

### AI とビッグデータで新しい投資情報を提供する株式会社 aiQ への投資実行

— オルタナティブデータを AI で解析し投資判断の支援を行う —

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018年7月に設立した「未来創生 2号ファンド」が、位置情報をはじめとしたオルタナティブデータを AI で解析し投資判断の支援を行う株式会社 aiQ（本社：東京都千代田区、代表取締役：山本裕樹。以下、aiQ 社と表記）への投資を実行しましたのでお知らせします。

aiQ 社は今回の調達資金を活用し、投資情報サービスの開発およびカスタマーサポートの拡充を進める予定です。

#### ■ 投資先企業の概要

aiQ 社は、2018年6月、東京大学松尾研究室や野村ホールディングスに所属するメンバーで設立されました。aiQ 代表である山本氏は、前職において SNS をディープラーニングで解析した新しい経済指標である「SNS × AI 景況感指数」を経済産業省と共同で開発・公表するなど、AI 技術を使ったクオンツとして活躍してきました。また、プロジェクト初期から東京大学松尾豊教授のグループと協働・資本関係にあり、特にディープラーニングを用いた解析を幅広く活用しています。2018年12月には最初の投資情報サービス「aiQ Geolocation」をリリースしています。

#### <aiQ Geolocation について>

NTT ドコモグループの携帯電話位置情報とディープラーニング技術を用いることで、対象企業に関わる人の動きを在住者や通勤者といった詳細なカテゴリに分解して解析。1,500 社を超える国内企業の活動状況や業績を高精度に予測し、投資家に提供しています。

#### ■ 「未来創生（1号）ファンド」及び「未来創生 2号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計20社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技术を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約50社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2号ファンドの運用を開始しました。2019年4月末時点の運用資産残高は、1号と2号あわせて、1093億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

#### ■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室



TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101  
pr\_media@sparxgroup.com